


こどもの権利を守り、こどもの最善の利益を考える

# 平井伸治鳥取県知事とともに考えるシンポジウム こどもの視点にたった政策とは


～こども政策の充実と、こどもの基本法の制定に向けて～

鳥取県議会議員 松田 正



# 自己紹介 1

- 松田 正
- 昭和48年12月26日生 48歳
- 長女 20歳
- 次女 19歳
- 妻とは5年前に離婚
- 平成4年 鳥取県立米子西高等学校 卒業
- 平成8年 大阪学院大学 経済学部 卒業
  
- 平成18年 6月 米子市議会議員（初当選）32歳
- 平成22年 6月 米子市議会議員（2期目）36歳  
（自民党鳥取県連青年部長就任）
- 平成27年 4月 鳥取県議会議員（初当選）41歳
- 平成31年 4月 鳥取県議会議員（2期目）45歳



## 自己紹介 2

### 〔現職〕

- 自民党鳥取県連 青年局長
- 青少年育成鳥取県民会議 副会長
- 米子ボーイスカウト育成会 会長

### 〔鳥取県議会における議連役員〕

- 鳥取県議会ボーイスカウト運動議員懇談会 事務局長

### 〔その他の元職〕

- 米子市立淀江小学校 P T A 元会長
- 淀江地区子ども会育成連絡協議会 元会長
- 一般社団法人米子青年会議所 元副理事長・元監事

# 地方議員として

- ▶ 平成13年 付属池田小事件 に衝撃を受ける（不審者が児童8名を殺害）
- ▶ 平成18年 米子市議会議員選挙 当時 長女5歳 次女3歳
- ▶ 「未来を担う子どもたちを守りたい」という思い
- ▶ 全ての施策は「子ども」を中心にしての市政挑戦

## ▶ 私の原点は「Children First」だった

- ▶ 松田は「子ども」の事しか考えてないのか・・・
- ▶ 農業のことも考える・・・
- ▶ 反面「潔い!!」との評価もwww
- ▶ 様々なお声もいただきましたが、なんとか初当選させていただきました

討論資料



32才こどもたちの未来のために  
若さと行動力でがんばります！

松田  
まつた  
ただし



# 松田ただしは 子育て世代の「本音」をぶつけます

- 子どもたちが「誇り」を持つことができる  
新米子市を創造します。

淀江町との合併による新生米子市が誕生して一年が過ぎました。  
この新米子市の宝である スポーツ資源（皆生トライアスロン、SC鳥取等）  
観光資源（妻木晩田遺跡、皆生温泉等）のさらなる有効活用をはかり、  
子どもたちが「夢」をいだき、「誇り」をもつことのできるまちづくりを目指します。

- 子どもを安心して「産み」「育てる」ことが  
できる新米子市を目指します。

少子化はまちの活力を奪います。  
長時間保育の確立、子どもたち全員に防犯ブザーの携帯、児童手当の拡充など  
我々の世代が安心して子育てのできる環境を整備します。

- 子どもたちの世代に  
「ツケ」をまわすのはやめにしよう。

もう次の世代に負の遺産（借金）を押しつけるのはやめましょう。  
行政業務の効率化・人件費の抑制をはかり、財政のスリム化を推進します。

あした

## 子どもたちの未来のために...

# 米子市議会で・・・

- 保育園、小中学校のセキュリティー向上（民間警備会社との連携）
- 児童全員に防犯ブザー、防犯携帯電話の提言
- 保育料の軽減
- 放課後児童クラブ課題点（保育部局・教育委員会）
- 子ども関連施策のワンストップ化（平成25年 子ども未来課）

その後

- 平成30年 子ども未来局

こども家庭庁創設前に

- 令和3年 子ども総本部 に改組  
（子ども総本部は子育て関係課と教育委員会を統括）

子どもたちの成長に合わせる形で、子育て課題や教育課題に取り組んできた







# 鳥取県「子育て王国とっとり」

- ▶ 平成17年 家庭教育推進協力企業制度
- ▶ 平成22年 「子育て王国とっとり」建国
- ▶ 平成23年 小児医療費助成対象の拡大 就学前→中学校卒業に（現在18歳まで）
- ▶ 平成25年 「子育て王国とっとり条例」制定
- ▶ 平成27年 第3子以降保育料無償化（所得制限なし）

鳥取県議会では・・・

- ▶ 平成28年 不妊検査費助成
- ▶ 令和3年 6月 県議会自民党の代表質問にて「こども庁」設立について平井知事に質問
- ▶ 令和 2年以降 全国の一步先を行く子育て支援の展開を行なっている
  - ・ 高校生通学費支援、私立中学校・高校生の授業料支援、不妊治療費助成など
- 鳥取県は日本財団さまの支援を受けながら、全国トップレベルの子育て支援策を展開中

# こども庁創設に向けた活動

- Children Firstの子ども行政のあり方勉強会地方議員連絡会  
代表世話人 岐阜県議会議員 長屋光征（登録地方議員436名）
- 中国ブロック世話人として参画  
主に自民党が野党時代（小泉進次郎青年局長）の青年局メンバーで活動
- 地方議員アンケート、地方公務員アンケート、勉強会等を実施
- いじめ、不登校、子どもの貧困、児童相談所、不妊治療、家庭教育など、それぞれの地域が抱える多様な問題、また意見が提起されました。

それらを受け

▶ 令和3年10月15日

「こども庁の設置を求める要望書」

野田聖子 内閣府特命担当大臣に提出



- 専任の大臣の下で、強い権限を持って子ども・子育てに関する施策を一元的に所管する「こども庁」を設置すること
- 「こども庁」には、子どもに関する課題と予算の網羅的・一元的把握と、縦割りを克服し府省庁横断の一貫性を確保するための強い総合調整機能、調査機能、データの一元的な集約と影響評価、政策立案、政策遂行等の権限を持たせること
- 家族関係政府支出を欧州先進諸国並みの対GDP比3割程度に拡大し、子どもに関する専門職員の人材確保、研修体制の整備等、都道府県・市区町村で子ども施策を包括的かつ着実に展開できる体制整備を強力に推進すること
- 子どもの医療費助成に係る国民健康保険の減額調整措置について、未就学児に対するもの以外も廃止を検討するとともに、自治体間における子どもの医療費負担の格差を根絶するため、未就学児までの子どもの医療費は、全国一律の国の保障制度にすること
- 学校現場で生じている課題（いじめ、自殺、教員のわいせつ行為、体罰、指導死等）に関する情報が、教育委員会に留まり表面化されず、対応されない、または遅れる事例が見受けられる現状を解決するため、英国のOfsted（Office for Standards in Education：教育水準監査局）のような、独立して教育機関（私学含む）を調査し、評価・改善勧告等をする透明性の高い機関の設置も含めた措置を検討すること
- Children First行政の推進に当たっては、国は、都道府県、市区町村の声をよく聴き、連携を強化するための常設の協議の場を設けること
- 全国一律に適用される国の子ども関連施策（いわゆる国のユニバーサル・サービス）のうち、子どもに関する課題の多様化・複雑化や少子化等により、従来の対応では困難になっている施策を洗い出し、整理するとともに、今後、国のユニバーサル・サービスとして新たに必要と考えられる施策を網羅的に検討し、実施すること
- 子ども施策に関する行政の手続きについて、申請者の利便性を大幅に向上するとともに、行政職員の負担も軽減するためにデジタルを活用し簡素化すること



私の原点は「Children First」

➡ こども家庭庁に大いに期待しています